

下水道ビジョン2022「取り組みの方向性」と「令和4年度 計画目標・取り組み内容」関係表

参考資料3

※「重点」欄の●印は、市政運営方針に基づく公約施策など、「上下水道局の取り組み」に掲げる重点施策を示します。

基本方向	NO.	取り組みの方向性	重点	令和4年度 計画目標・取り組み内容 (令和3年度下水道事業 基本施策評価表を参考)	担当部署	
安全・安心な市民生活の確保	＜下水道施設の改築・修繕＞					
	1	下水道施設の老朽化による道路陥没や排水不良など、市民生活へ重大な影響を及ぼさないよう、維持修繕基準に基づき日常的な維持管理及び、計画的な下水道施設の点検・調査や改築・修繕などの老朽化対策を進める。また、雨天時浸入水などを原因とする降雨時の汚水量増加の問題について、その対策に取り組む。	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道施設の点検・調査結果等に応じた下水道ストックマネジメント計画の修正</li> <li>下水道ストックマネジメント計画に基づく北部調整槽の状態監視を行ったうえでの改修費用の予算計上</li> <li>下水道長寿命化計画に基づく茄子作北町地区の污水管渠改築工事に向けた実施設計</li> <li>下水道ストックマネジメントに基づく下水道施設の計画的な点検、調査 【R4年度数値目標】 調査実施管路距離 8.6km</li> <li>下水道ストックマネジメントに基づく下水道施設の計画的な改築</li> <li>下水道施設の維持管理による機能維持と浸水の防除 【R4年度目標】 ポンプ場点検回数 400件</li> <li>下水道ストックマネジメント計画に基づく蹉跎ポンプ場2号ポンプ改良工事(分解整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道計画課</li> <li>下水道施設維持課</li> <li>污水整備課</li> <li>污水整備課</li> <li>污水整備課</li> <li>下水道施設維持課</li> <li>雨水整備課</li> </ul>	
	＜下水道施設の耐震化＞					
	2	地震時も下水道の機能が確保できるよう、被災による影響が大きい緊急輸送路などに埋設されている管渠や軌道・河川を横断している管渠及びポンプ場などの重要な施設から計画的に耐震化を進める。	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道総合地震対策計画(その2)に基づく耐震化工事及び実施設計</li> <li>R3年度に実施設計した北部ポンプ場(建屋)の耐震化工事</li> <li>R2年度に耐震診断した安居川、溝谷川ポンプ場の実施設計</li> <li>藤本川、黒田川、蹉跎ポンプ場の耐震診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>污水整備課</li> <li>雨水整備課</li> </ul>	
	＜浸水被害の軽減＞					
	3	計画降雨に対応する雨水整備を進めるとともに、近年の気候変動等に伴う降雨の集中化・激甚化を要因とした内水の氾濫による浸水被害からまちを守るため、計画降雨を超える集中豪雨や局所的な浸水に対して、地域の特性を踏まえた浸水対策や雨水流出抑制施設の設置などを進める。	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道浸水被害軽減総合計画に基づく雨水貯留施設の整備</li> <li>R2年度に雨水管渠の基本設計を実施した楠葉野田と伊加賀両地区の一部における工事、藤阪地区における実施設計</li> <li>要綱に基づく指導や協力依頼による雨水貯留施設の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水整備課</li> <li>下水道管理課</li> </ul>	
	水環境の保全	＜環境負荷の低減＞				
		4	本市の下水道は整備当初から汚水の処理と雨水の排除というそれぞれの目的に沿った分流式を採用しており、今後も、合流式よりも環境にやさしい分流式下水道により整備を行う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施設計を完了した地区における整備工事の着手、承諾が得られた地区における計画的な整備、未承諾地区における権利者への粘り強い交渉、整備困難地区における現地調査及び技術的な検討・検証</li> </ul>	污水整備課
	快適な生活環境の創造	＜適正処理の推進＞				
5		生活排水の適正処理を推進するため、水洗化義務期限内の水洗化に向けて取り組むとともに、期限を超過した家屋に対しては下水道の使用に向けた指導勧告を進める。		<ul style="list-style-type: none"> <li>義務期限を超過した未水洗家屋の実態調査、指導勧告</li> <li>供用開始後3年以内の家屋所有者に対する水洗化工事の補助・融資あっせん制度を説明した通知文書の送付</li> </ul>	下水道管理課	
快適な生活環境の創造	＜污水整備＞					
	6	住居系地域の污水整備は概成したが、引き続き市内に点在する未整備地区について污水の整備を進めていくことにより、公衆衛生を向上させ、快適な生活環境を創造する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方向「水環境の保全」＜環境負荷の低減＞ No. 4の計画目標・取り組み内容と同様</li> </ul>	污水整備課	
快適な生活環境の創造	＜雨水整備＞					
	7	人命や財産を守り、交通などの都市機能を確保するため、計画降雨に対応する雨水整備を進め、安心して生活できる環境を創造する。	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤阪地区における実施設計、楠葉野田地区における管渠計画の見直し等に向けた更なる検討</li> </ul>	雨水整備課	

下水道ビジョン2022「取り組みの方向性」と「令和4年度 計画目標・取り組み内容」関係表

参考資料3

※「重点」欄の●印は、市政運営方針に基づく公約施策など、「上下水道局の取り組み」に掲げる重点施策を示します。

基本方向	NO.	取り組みの方向性	重点	令和4年度 計画目標・取り組み内容 (令和3年度下水道事業 基本施策評価表を参考)	担当部署
下水道事業を持続するための基盤づくり	<b>&lt;財政基盤の強化&gt;</b>				
	8	下水道事業を効率的かつ継続的に提供するため、将来予測に基づいた投資計画や財政計画を適切にマネジメントすることで、経営の健全化と経営基盤の強化に取り組む。	●	一般会計からの基準外繰入金削減	上下水道財務課
				国等の補助制度の活用	上下水道計画課
		将来の使用水量の減少を見据えた使用料体系を実現し、健全かつ持続可能な事業運営を行うため、総括原価に基づく使用料制度の構築に向けた見直しを定期的実施する。		R6年度の総括原価の算定に向けた社会経済情勢を踏まえた収支計画の策定準備	上下水道財務課 総務課 営業料金課
		下水道サービスの提供にあたっては、社会環境の変化により多様化するお客さまニーズを的確に把握するとともに、サービス提供コストが下水道使用料に与える影響を考慮し、判断していく。		下水道使用料改正の必要性についての円滑な検討に向けた調定水量や調定金額に関する推移のモニタリング実施	営業料金課
		汚水事業の新規整備にあたっては、事業効果を含めて慎重に判断しながら実施する。		総括原価の算定を基にした下水道使用料改正についての検討	総務課
		下水処理水の再利用については、事業手法や費用対効果も含めて検討し、事業のあり方を見直す。		工場系地域での汚水整備における事業効果を含めた慎重な検討	汚水整備課
	<b>&lt;運営基盤の強化&gt;</b>				
	9	維持管理の時代に適した人(人材)・モノ(施設)・カネ(財源)が一体となったアセットマネジメントや、適切な被害想定にもとづく防災・減災を推進するという考え方の下、ハード・ソフト対策を組み合わせた非常時のクライシスマネジメントなどを確立していく。	●	戦略的かつ円滑な事業運営の推進や危機管理体制の強化	総務課
				経営戦略の見直しの検討	上下水道財務課
		今までの考え方や取り組みにとらわれない業務の再編や執行の効率化等、検証や見直しによる経費の抑制を行い、持続可能な事業運営に取り組む。		R5年度の下水道整備基本計画、下水道ストックマネジメント計画、下水道総合地震対策計画の改定に向けた検討	上下水道計画課
		組織の再編		総務課	
		適正な予算編成と執行管理		上下水道財務課	
		下水道使用料等の債権の徴収強化		営業料金課	
		下水道マンホール蓋の有効活用(有料広告等)		下水道管理課	
	遊休施設や既存施設の有効活用	下水道管理課			
	雨水ポンプ場における運転、維持管理業務の民間委託拡充に向けた検証	下水道施設維持課			
	人材育成や技術継承はもとより、組織力強化のために業務に精通する専門性の高い職員を適切に配置できる体制を継続する。	技術力向上に向けた専門研修(OFFJT)の積極的な活用 事業運営(OJT)を通じた技術継承による技術者の育成	総務課		
公民連携、広域化・共同化などの新たな手法に取り組む。	公民連携プラットフォームを窓口提案された温度センサーを用いた雨天時浸入水発生源調査の実施	上下水道計画課			
<b>&lt;積極的な広報活動&gt;</b>					
10	下水道に関する取り組みや経営状況について情報発信を行い、積極的な広報活動に取り組む。	●	下水道事業全般の情報発信(広報ひらかた、HP、SNS等) 新型コロナウイルス感染症対策に留意したオンライン開催も含めた出前講座の実施や各種イベント等への参加を通じた情報発信	総務課	
<b>&lt;環境対策と社会目標の実現&gt;</b>					
11	「SDGs」、「Society5.0」、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」などの社会目標の実現に向けて、下水道事業を通じて持続可能な社会をめざす。		下水道事業のICT化に向けた検証(下水道管理課)	全課	